

令和 8 年度連携促進事業 IPS2026 福岡大会に対する協賛について（案）

福岡市科学館（IPS2026 FUKUOKA 国内組織委員会）から国際プラネタリウム協会（IPS: International Planetarium Society）2026 福岡大会（以下、支援対象事業という。）の開催に関し、別紙のとおり支援に関する依頼があった。

当該事業へ支援することは、加盟館園の博物館事業の振興に寄与することから、以下のとおり支援することとしたい。

記

1. 全科協の繰越金のうちから年間あたり約 50 万円程度を財源に充てる。
2. 協賛金の使途は、原則として全科協正会員・維持会員に所属する者の支援対象事業への参加に伴う参加登録費又は旅費に対する補助に限るものとするが、それらに関連する管理費用（振込手数料等）が生ずる場合には全科協事務局に事前に相談の上、決定する。
3. 支援対象事業に係る庶務及び経理については、すべて事業主催団体である福岡市科学館（IPS2026 FUKUOKA 国内組織委員会）が処理する。
4. 福岡市科学館は、支援対象事業終了後、実施報告書を全科協事務局に提出すること。
また、協賛金に残余が生じた場合は、全科協に返納すること。
5. 福岡市科学館は、総会又は研究発表大会で報告を行うこと。

以上

2026年2月1日

独立行政法人国立科学博物館長
全国科学博物館協議会 理事長
篠田 謙一 様

IPS 2026 FUKUOKA 国内組織委員会委員長
矢原 徹



IPS 2026 FUKUOKA 開催に当たってのご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、科学博物館、プラネタリウム及び天文台の活動等に対し格別のご高配を賜り、厚く感謝申し上げます。

本年6月、国内では30年ぶりに国際プラネタリウム協会（International Planetarium Society ; IPS）の大会が福岡市で開催されます。IPSは、世界最大のプラネタリウム関係者による団体で、1970年の発足以来、世界中の学校、大学、博物館、天文台、公共施設等のあらゆる施設・規模のプラネタリウムを代表する世界50か国の約500名の会員が加入し、2年おきに各国都市で大会を開催しています。

IPS 2026 FUKUOKA は、プラネタリウム誕生100周年の後に開催される最初の大会であり、人類が作り出した地球と空を見るための装置であるプラネタリウムに関わる世界中の仲間が福岡のひとつの空の下に集い、「One Earth, One Sky」のテーマの下、次の100年に向けて新しい創造ができる大会を目指しています。

つきましては、国内の科学館等から一人でも多くの関係者の参加を得て、IPS 2026 FUKUOKA が成功裡に開催されますよう、国立科学博物館及び全国科学博物館協議会様のご支援、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしく願いいたします。

敬 具

(添付資料)

- ・IPS 2026 FUKUOKA 概要
- ・IPS 2026 国内組織委員会 規約
- ・IPS 2026 国内組織委員会 事務局規定

IPS 2026 FUKUOKA 基本スケジュール

| 6月 | 18(木) プレ1日目 | 19(金) プレ2日目 | 20(土) プレ3日目 | 21(日) プレ4日目 | 22(月) 1日目 | 23(火) 2日目 | 24(水) 3日目 | 25(木) 4日目 | 26(金) 5日目 | 27(土)~ 6日目~ |
|-------------|----------------|----------------|---------------------|---------------------------------|--------------|--------------|------------------------|--------------|--------------|-----------------------|
| 科学館 | フルドームフェスティバル | | IPS 理事会 連携シンポジウム | スポンサープロモーション セッション & ワークショップ | | | | | | |
| 国際 センター | | | | | | | スポンサー展示会 | | | |
| 国際 会議場 | | | | | | | 総会/ 同時開催セッション/ 基調講演 | | | |
| 大濠公園 能楽堂 | | | ウェルカム イベント | | | | | | | |
| 未定 | | | | | | | | | バンケット | ポスト カンファレンス ツアー |

6月18日(木)・19日(金)

福岡市科学館ドームシアターを会場としてフルドームフェスティバルを開催。
世界各国の制作者から応募されたコンテンツ上映。ショートムービー、長編ムービーのコンテストを実施予定。

6月20日(土)・21日(日)

福岡市科学館にて IPS 理事会を開催。同時に市民が参加できるシンポジウムやイベントなども実施予定。
21日(日) 夕刻からのウェルカムイベントは、大濠公園能楽堂で日本の伝統文化である能楽鑑賞。食事 & 懇親会を実施予定。

6月22日(月)・23日(火)

福岡市科学館のドームシアターおよびサイエンスホールで、出展者・スポンサーによる最新の機器や映像のデモンストレーション、
その他展示室や実験室でのセッションやワークショップも実施予定。

6月24日(水)~26日(金) 午前

会場を福岡国際センター、福岡国際会議場に移動。国際センターでは各スポンサーブースで各社の最新技術や映像に触れ、国際
会議場では、最大1,000人収容できるホールや、大小20以上の会議室でのセッションやワークショップを実施。
セッションテーマは以下を検討中。

一般トピック

- ◎フィロソフィ
- ◎技術とハードウェア
- ◎管理・運営・広報
- ◎プラネタリウムと天文教育
- ◎インクルージョン・多様性・公平性・アクセシビリティ
- ◎モバイルプラネタリウム
- ◎プラネタリウムの未来

企画セッション (IPS 2026 FUKUOKA オリジナル)

- ◎プラネタリウムと天文学普及の軌跡
- ◎世界のプラネタリウム愛好家
- ◎世界の星の伝承
- ◎プラネタリウムと宇宙開発ビジネスとの連携
- ◎日本のアニメ文化とプラネタリウム

6月26日(金) 午後

福岡の近隣をめぐるツアーや夕刻からはバンケット(晩餐会)を開催予定。

6月27日(土)~ ポストカンファレンスツアー

(日本)国内のプラネタリウム施設や天文台、観光地を巡る旅を検討中。

内容は変更する場合があります。最新情報はホームページをご参照ください。

<https://www.ips2026fukuoka.com/>



IPS 2026 FUKUOKA 国内組織委員会

〒810-0044 福岡市中央区六本松 4-2-1 福岡市科学館内
TEL: 092-731-2525 / FAX: 092-731-2530
E-mail: ips-fukuoka@fukuokacity-kagakukan.jp

出展スポンサーに関する窓口

Professional Congress Organizer (PCO)
IPS 2026 LOC サポートチーム
E-mail: sponsor_ips2026@officebeone.com

2026年6月福岡にやってくる！
プラネタリウムの国際会議が



FUKUOKA 2026



6月21日(日)~26日(金)

ウェルカムイベント 6月21日(日) 夕刻
カンファレンス 6月22日(月)~26日(金) 午前
バンケット 6月26日(金) 夕刻



IPS 2026 FUKUOKA 大会

2026年6月。国内では30年ぶりに国際プラネタリウム協会（IPS: International Planetarium Society）の大会が開催されます。この大会のHOSTを福岡市科学館が担います。

この大会には、世界中のプラネタリウムや天文に関する・興味を持つ人々が集結します。プラネタリウムの最新業界情報に触れ、世界中のプラネタリアンと意見を交換し、交流を深めるイベントが盛りだくさんです。国内での開催は大変貴重な機会となります。ぜひご参加ください。

大会趣旨 “One Earth, One Sky”

人類の歴史を通じて、私たちは独自の言語と文化を持つ多様な社会を築いてきました。そして今日、持続可能な社会の実現という課題に直面する中で、国際的な協力はこれまで以上に重要となっています。こうした時代において、分野や国境を越えて人々がつながり、知恵や経験を共有する場が求められています。

IPS 2026 FUKUOKA は、“One Earth, One Sky” をテーマに、プラネタリウム誕生100周年を経て開催される最初の大会です。世界中のプラネタリウム関係者が福岡の空の下に集い、次の100年に向けて新たな創造を育むカンファレンスを目指します。

IPS 2026 FUKUOKA HOST
国内組織委員会 組織委員長

福岡市科学館 館長 矢原 徹一



IPS カンファレンスの歴史(過去大会)

- | | | |
|-------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 第13回 1996年 大阪(日本) | 第14回 1998年 ロンドン(イギリス) | 第15回 2000年 モントリオール(カナダ) |
| 第16回 2002年 ウィチタ(アメリカ) | 第17回 2004年 バレンシア(スペイン) | 第18回 2006年 メルボルン(オーストラリア) |
| 第19回 2008年 アドラー(アメリカ) | 第20回 2010年 アレクサンドリア(エジプト) | 第21回 2012年 バトルージュ(アメリカ) |
| 第24回 2014年 北京(中国) | 第25回 2016年 ワルシャワ(ポーランド) | 第26回 2018年 トゥールーズ(フランス) |
| 第27回 2020年 バーチャルカンファレンス | 第28回 2021年 バーチャルカンファレンス | 第29回 2024年 イエナ/ベルリン(ドイツ) |
| 第30回 2026年 福岡(日本) | | |



国際プラネタリウム協会 (IPS: International Planetarium Society)

IPS は世界最大のプラネタリウム関係者による団体です。1970年の発足以来、世界中の学校、大学、博物館、天文台、公共施設などのあらゆる施設・規模のプラネタリウムを代表する約500名（世界50カ国）の会員が本会に加入し、2年おきに各国都市でカンファレンスを開催しています。

2023~2025年にかけてのプラネタリウム100周年記念事業も世界各国で開催され、2024年イエナ/ベルリン大会は、プラネタリウム発祥の地で100周年を祝う記念大会となりました。



IPS President **Dr. Shannon Schmoll**
Director, Talbert and Leota Abrams Planetarium, Michigan State University

大会会場と交通機関



福岡市科学館

IPS 2026 FUKUOKA 開催に先立ってプレイベントとして、フルドームフェスティバルをドームシアターで開催します。ショートムービー、長編ムービーの放映を予定しています。また共催イベントも行う予定です。25mドームでの作品鑑賞をお楽しみください。カンファレンス第1日目はここから始まります。スポンサーによるプレゼンテーションをドームシアターとサイエンスホールで開催します。ペーパーセッション、ワークショップ、グループディスカッションを各室で実施します。コンパクトな空間で、発表者との距離も近く、活発なコミュニケーションも生まれることでしょう。

フルドームフェスティバル：2026年6月18日(木)・19日(金)

共催イベント：2026年6月20日(土)・21日(日)

カンファレンス (1日目・2日目)：2026年6月22日(月)・23日(火)

福岡国際センター

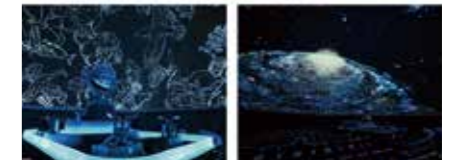
大きな空間にスポンサーの出展ブースを設置します。出展者・スポンサーの最新技術や最新の作品に触れる機会となります。コンテンツ制作者や研究発表用に仮設ドームの設置も計画。昼食会場や商談スペースなども用意し、快適な空間を提供します。

カンファレンス (3日目~5日目)：2026年6月24日(水)・25日(木)・26日(金)

福岡国際会議場

IPS 2026 FUKUOKA での特別企画や日本のプラネタリウムや天文台、そして天文教育関係者との合同セッションを企画しています。ここでは、“One Earth, One Sky” のテーマにそったペーパーセッション、ワークショップ、グループディスカッションも実施します。大ホールでは、IPS 総会のほか、基調講演、閉会式(メモリアル、アワード、写真撮影など)を行います。

カンファレンス (3日目~5日目)：2026年6月24日(水)・25日(木)・26日(金)



国際プラネタリウム協会 2026 国際会議 in 福岡
国内組織委員会(Local Organizing Committee)
規約

(名称)

第1条 本委員会は、「国際プラネタリウム協会 2026 国際会議 in 福岡」国内組織委員会と称する。

(目的)

第2条 本委員会は、国際プラネタリウム協会（以下「IPS」という）が2026年6月に福岡市において開催する「国際プラネタリウム協会 2026 国際会議 in 福岡」（英語名称：International Planetarium Society 2026 conference in FUKUOKA、略称：IPS 2026 Fukuoka）（以下「IPS 2026 福岡」という）を円滑かつ成功裡に実施することを目的として、IPSの規約に基づいて、国内組織委員会（以下「IPS 2026 国内組織委員会」（英名：IPS 2026 LOC）という）として設置する。

(運営)

第3条 IPS 2026 国内組織委員会の運営は、この規約の定めるところによる。

(活動)

第4条 IPS 2026 国内組織委員会は、会議の準備、運営および関連諸行事等に関し、次の活動を行う。

- (1) IPS、福岡市、日本プラネタリウム協議会、その他日本天文学会等関連諸機関・団体との緊密かつ円滑な連携
- (2) IPS 2026 福岡の開催場所および周辺施設の確保並びに利用のための準備
- (3) 決定された IPS 2026 福岡の実施計画の実施
- (4) IPS 2026 福岡の参加者からの参加費徴収、助成金の申請
- (5) 前各号に関わる経費の管理
- (6) その他、前各号に付随する業務

(構成)

第5条 IPS 2026 国内組織委員会は、理事会、事務局および各部会等で構成され、IPSおよびIPS 2026 福岡の主催館である福岡市科学館の特定事業目的会社並びに国内プラネタリウム関係者から推薦された委員と外部協力者（以下「構成員」という）をもって構成する。

(理事会)

第6条 IPS 2026 国内組織委員会理事会に次の各号に掲げる役員を置く

- (1) 組織委員長（IPS 2026 Conference Host / Chair） 1名

- (2) 組織副委員長(事務局担当者、日本プラネタリウム協議会 3名
(以下「JPA」という。)担当者およびIPS担当者)
- (3) 理事 数名

(理事会役員等の選出)

第7条 組織委員長は、IPS 2026 福岡の主催館である福岡市科学館館長をもって充てる。

- 2 理事会役員は、構成員の推薦に基づき、組織委員長が指名する。
- 3 組織副委員長は、理事会役員の間選により決定する。

(理事会役員の職務)

第8条 組織委員長は、主催者並びに大会議長の一人として、IPS 2026 国内組織委員会を代表し、理事会を管理し、IPS 2026 福岡を統括する。

- 2 事務局担当の組織副委員長は、IPS 2026 福岡の主催館の特定目的会社取締役として組織委員長、JPA および IPS 担当の組織副委員長を補佐する。
- 3 JPA 担当の組織副委員長は、JPA との連絡調整を行い、国内プラネタリアンの参加、連携などを取りまとめ、IPS 2026 福岡の大会議長の一人として、組織委員長を補佐する。
- 4 IPS 担当の組織副委員長は、IPS カンファレンスガイドラインによりプラネタリアンが担い、IPS 2026 福岡の大会議長の一人として IPS 2026 福岡の会議を主宰する。
- 5 組織委員長、組織副委員長に故障があるときは、IPS 2026 国内組織委員会理事が理事会の了解をもって、その職務を代理することがある。

(理事会役員の任期)

第9条 理事会役員の間は、IPS 2026 国内組織委員会に関わる全ての業務が終了するまでの間とする。

- 2 事情により理事会役員が職務を離脱する場合は、任期の満了に及ばない場合もこれを妨げるものではない。

(理事会役員の間任)

第10条 理事会役員が次の各号のいずれかに該当するときは、理事会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えられないとき。

(理事会の会議)

第11条 IPS 2026 国内組織委員会理事会の会議は、組織委員長、組織副委員長および理事をもって構成し、次の各号に掲げる事項を決定する。

- (1) この規約の制定改廃に関すること。
- (2) IPS 2026 福岡の事業計画に関すること。

- (3) IPS 2026 国内組織委員会の運営に必要な予算および決算に関すること。
- (4) 各前号に掲げるもののほか、重要な事項に関すること。
- 2 組織委員長は、必要と認めるときに理事会を招集して、その会議の議長となる。また、必要な人員を会議に参加させることができる。
- 3 理事会は、役員²の2分の1以上の出席で成立する。この場合において、委任状を提出した者は、出席者とみなす。
- 4 理事会の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 理事会の運営は、IPS 2026 国内組織委員会事務局（以下「事務局」という）が補佐する。

（事務局）

- 第12条 IPS 2026 福岡の業務推進および事務を処理するため、事務局を、主催館である福岡市中央区六本松 4-2-1 福岡市科学館内に置く。
- 2 IPS 2026 福岡の収支管理は、事務局が行う。
 - 3 事務局の運営は、事務局長が統括する。
 - 4 事務局長は、事務局運営の補佐、支援を受けるために、外部協力者などに業務委託を発注することができる。
 - 5 事務局の組織および運営に関し必要な事項の改定は、理事会の決議により別に定める。

（会計）

- 第13条 IPS 2026 国内組織委員会の事業費は、大会参加料、大会出展費、広告収入、チケット収入や物販収入、その他の収入および公的基金などを以ってこれに充てる。
- 2 IPS 2026 国内組織委員会の会計期間は、IPS 2026 福岡が決定した2023年7月1日以降の準備期間から、IPS との契約期間である2026年12月31日までとする。
 - 3 2023年度分の経費などの会計は、2024年度と合わせて会計処理を行う。
 - 4 事務局長は、会計担当者および監査担当者を設ける。
 - 5 IPS 2026 国内組織委員会に関する会計処理に関し、必要事項は事務局長が別に定める。

（部会等）

- 第14条 組織委員長は、IPS 2026 福岡の準備、実施に必要な会議および各部会等を設置する。
- 2 各部会は、組織委員長の指名により組織する。
 - 3 この会議、各部会等の運営に支援、補助が必要な場合は、事務局長より委託された者がこれを行うことができる。

（委任）

- 第15条 この規約に定めるもののほか、IPS 2026 福岡 国内組織委員会の運営に関し必要な事項は、組織委員長が定める。

(解散)

第16条 IPS 2026 福岡 国内組織委員会は、IPS 2026 福岡の収支報告書および事業報告書（以下「IPS 報告書」という）を作成し、IPS 報告書の受領確認後に解散する。

付則

(施行期日)

1 この規約は2024年5月1日から施行する。

(施行日前における準備行為)

2 この規約の施行日前に行われた2023年7月1日以降のIPS 2026 福岡の準備行為はこの規約に基づいて行われたものとみなす。

2024年4月30日

| | | |
|-----------------|---|--------|
| IPS 2026 福岡 主催者 | 福岡市科学館 館長 | 矢原 徹一 |
| 主催館運営企業 | 福岡市科学館特定事業者 株式会社福岡サイエンス&クリエイティブ 代表取締役社長 | 牛村 守 |
| 事務局担当企業 | コニカミノルタプラネタリウム株式会社 代表取締役社長 | 本 由美子 |
| 事務局担当企業 | 株式会社トータルメディア開発研究所 代表取締役社長 | 山村 健一郎 |

IPS 2026 国内組織委員会 事務局規程

(目的)

第1条 この規程は、国際プラネタリウム協会 2026 国際会議 in 福岡（以下「IPS 2026 福岡」という）の開催に関連し、国内組織委員会(Local Organizing Committee)規約(以下「本規約」という) 第12条の規程に基づき、「国際プラネタリウム協会 2026 国際会議 in 福岡」国内組織委員会事務局（以下「事務局」という）の組織および運営について必要な事項を定めるものとする。

(運営)

第2条 事務局の運営は、この規程の定めるところによる。

(事務局員)

第3条 事務局に次の各号に掲げる職員をおく。

- (1) 事務局長 1名 (福岡市科学館(以下「ホスト館」という)の福岡市科学館特定事業目的会社 取締役)
- (2) 事務局次長 2名 (ホスト館の福岡市科学館特定事業目的会社 出資企業従業員)
- (3) 事務局員 数名 (ホスト館の福岡市科学館特定事業目的会社 出資企業従業員)
- (4) 部会委員 数名 (国内プラネタリウム関係者など)
- (5) 会計担当者 (ホスト館の福岡市科学館特定事業目的会社 出資企業従業員)
- (6) 監査担当者 (会計担当者とは別のホスト館の福岡市科学館特定事業目的会社 出資企業従業員)

(職務)

第4条 事務局長は、事務局を管理し、IPS 2026 国内組織委員会の事務局を統括するものとし、ホスト館の福岡市科学館特定事業目的会社 取締役が就任する。また、事務局および各部会運営の補佐、支援を行うために、外部協力者などに業務を委託することができる。

- 2 事務局次長は、事務局長を補佐し、事務局長に事故あるときはその職務を代行するとともに、分担する事務を処理するものとし、ホスト館の福岡市科学館特定事業目的会社 出資企業の従業員が就任する。
- 3 事務局員は、各自が分担する事務を処理する。
- 4 部会委員は、各専門部会を統括し、部会ごとの実施計画を取りまとめ、実施する。
- 5 会計担当者は、IPS 2026 福岡に関わる経理、決算、予算管理、税務申告、資金管理など全ての会計業務を担当する。年度終了後および事業終了後、すみやかに収支報告書を作成し、IPS 2026 国内組織委員会理事会へ提出する。
- 6 監査担当者は、IPS 2026 福岡に関わる財務、内部統制、法令遵守の監査を行い、事業終了後に収支報告内容を監査し、監査報告書を IPS 2026 国内組織委員会理事会へ提出する。

(予算)

第5条 事務局は、IPS 2026 福岡の開催される2年前までに予算概要をIPSカンファレンス委員会（およびIPS評議会）に提出する。また、会議の前年のIPS評議会会議で更新版を提出し、各々承認を得る。

（助成金・寄附金・登録参加費等の管理）

第6条 IPS 2026 福岡開催のための準備、運営のため集められる寄附金品・参加登録費等およびその他これから生じる預金利息（以下「収入金等」という）の管理については、事務局長の指示監督の下、業務委託を受けた事業者が行うものとする。また、事務局長は以下の名義にて銀行口座を開設するものとし、同銀行口座は収入金等の管理および第7条に定める支出の管理のためだけに使用する。

| | |
|-------|--|
| 銀行口座名 | 国際プラネタリウム協会 2026 国際会議 in 福岡 国内組織委員会事務局長 (英名: International Planetarium Society 2026 conference in FUKUOKA Head of the secretariat) |
|-------|--|

（経費の支出）

第7条 IPS 2026 福岡開催の準備、運営および残務整理に要する経費は、収入金等から、IPS 2026 国内組織委員会の経理規程に基づき、会計担当者が国内組織委員会事務局長の承認を得て支出する。

（収支決算）

第8条 事務局は、IPS 2026 福岡終了後すみやかに収入支出の状況を記した帳簿、証拠書類その他関係書類を整理し、収支報告書の作成を行うものとする。

- 2 収支報告書は、監査のため、事務局長の承認を得たあと、監査担当者による監査および内容を承認する旨の署名・捺印を要するものとする。

（文書）

第9条 文書の取り扱いは、ホスト館の福岡市科学館特定事業目的会社の運用を定めた「福岡市科学館特定事業 事業契約書」第68条に準じて処理する。

（公印）

第10条 IPS 2026 国内組織委員会で使用する公印の種類および寸法は、別記のとおりとする。

（解散）

第11条 IPS 2026 国内組織委員会および事務局は、IPS 2026 福岡の収支報告書および事業報告書（以下「IPS 報告書」という）を作成し、IPS 報告書の受領確認後に解散する。同時に、第6条の銀行口座も廃止する。

付 則

(施行期日)

1 この規程は、2024年5月1日から施行する。

(施行日前における準備行為)

2 この規程の施行日前に行われた2023年7月1日以降のIPS 2026 福岡の開催に関連する職務、準備行為はこの規程に基づいて行われたものとみなす。

2024年4月30日

IPS 2026 国内組織委員会 準備会

別 記

| 公 印 名 | 書 体 | 形 状 | 寸 法 | 数 量 |
|---------------------------|-------|-------|----------|-----|
| IPS 2026 国内組織委員会 之印 | て ん 書 | 正 方 形 | 方 2 4 mm | 1 個 |

| 公 印 名 | 書 体 | 形 状 | 寸 法 | 数 量 |
|--------------------------------|-------|-----|-----------|-----|
| IPS 2026 国内組織委員会 組織委員長之印 | て ん 書 | 円 形 | 直径 1 8 mm | 1 個 |

| 銀行届出印 | 書 体 | 形 状 | 寸 法 | 数 量 |
|-------------------------------|-------|-----|-----------|-----|
| IPS 2026 国内組織委員会 事務局長之印 | て ん 書 | 円 形 | 直径 1 8 mm | 1 個 |